

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	17 情報通信
事務事業名			03 地域情報拠点施設の整備事業
			このシート作成に要した時間 1.5 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	公共施設・学校などを情報拠点として利用する市民 施設の移転の際は、移転対象施設の担当者及び事業受託者
目的 (何のために)	市内の公共施設や学校などを地域情報拠点と位置づけ、機能の充実に努めることにより、市民生活の利便性を向上させる。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公共施設・学校の地域情報拠点施設としての充実と安定接続の維持。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	地域情報拠点施設の整備業務	既存施設との安定接続の維持。 移転の場合は、予定やネットワーク変更の内容をヒアリングし、基幹業務系・情報系・公開系などネットワーク特性に合わせた使用や光ファイバー工事仕様などの情報をネットワーク保守業者などと協議し、担当課へ提示する。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	0.03人	300	299
	必要人員(人件費)	千円	0.03人	299	0.01人
	事業費計	千円	300	299	58
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金(市)	千円			
その他()	千円				
一般財源	千円	300	299	58	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
担当課協議回数	説明		施設の移転等に関し、担当課と協議した回数		
結果指標量	事業		7	6	4
対前年比	%		-	85.7%	66.7%
活動コスト	円		300,000	299,000	58,000
単位当たりコスト	円		42,857	49,833	14,500

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
接続トラブル発生回数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0
成果指標設定の考え方・式や説明					
地域情報拠点との安定接続の維持がこの事業の命題である。					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> A
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> A

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	今年度から備前病院の建替工事がスタートする、トラブルが発生しないように担当課との調整が必要。その他、既存施設の安定稼働に注力している。					

総合評価	
施設移転や建替に伴うネットワーク工事等でトラブルの発生はなかった。今後とも既存施設の安定稼働を維持していくことが重要で、人件費中心の事業で事業費も少ないが、安定接続維持のため廃止できるものではない。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	備前病院建替工事に伴う移設を含め、既存施設の安定稼働を継続する。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値目標を達成するための成果指標

